



発行日：2023年2月

発行：公益財団法人 藤井国際奨学財団

住所：〒567-0034 大阪府茨木市中穂積 3-12-2 ☎：072-621-7601

※当広報誌の文章・画像等の内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。



公益財団法人 藤井国際奨学財団

かけはし

Vol.14

2022年度 奨学生交流会

3年ぶりの対面交流会開催



2022年度交流会開催



2020年から始まった世界規模のパンデミックにより、私達の奨学財団においても人との交流が閉ざされておりました。

交流会はもとより面接選考もモニターを通して。便利ではありますが、端末のスイッチを切ってしまうと相手の声も表情もオフになってしまうことの空虚感に慣れないでいました。

今回「対面」で交流会を開催することが決定した後も、移動距離や全員での接触機会など調整する事柄が多く、前日まで心配な状態が続いておりました。

「3年ぶりに対面で学生達に会える！」
「遠方から来る学生は迷わずに来れるだろうか？」
「当日、ドタキャンをする学生はいないだろうか？」
そんな事に気をもみながら皆で待機しておりました。



そんな心配はこちらに向かってくる奨学生達の姿を見た瞬間、吹き飛んでいました。
検温消毒をしてフェイスシールドを手渡す。
「どうか交流会が盛り上がりますように」祈る思いで交流会は始まりました。



藤井理事長の冒頭のご挨拶や選考委員の先生方のご紹介に引き続き、学生達の自己紹介が始まりました。演台に立って自己紹介するのは緊張も伴いますが、皆近況をさらりと話してくれました。「コーヒーを入れるのが趣味です」「書道をずっと続けています」「格闘技にハマっています」等々。日本酒を嗜む方も多くみられ、財団スタッフから投げられたオススメのお酒について応えてくれる学生さんもいました。



千里阪急ホテルにて交流会

自己紹介が終わったあと、マイクロバス2台に分乗して「千里阪急ホテル」へ。日差しがたっぷりのクリスタルホール庭園に集合して写真を撮りました。せっかくの対面交流会ですのでマスクオフで撮影。空気が緩んでみんな笑顔いっぱいです。



久保先生の乾杯のご発声に従ってソフトドリンクで乾杯！大きな円卓に3~4人がけというフィジカルディスタンスでお食事会が始まりました。テーブル単位ではありますが、皆学校生活や研究内容などについて楽しく情報交換できたようで、連絡先を交換したという学生もいらっしゃるようです。



お食事が終わった段階で豪華賞品をかけた「ビンゴゲーム」が開催されました。ビンゴを達成した上位5名に「紅ずわいがに特盛」などが当たり、選考委員の先生方とツーショット写真を記念撮影。後日届いた賞品には満足していただけましたでしょうか？



会の終わりに選考委員の瀬口先生より「仲間と繋がることの大切さ」について心のこもったご挨拶をいただき、名残惜しさを残しつつも「2022年度奨学生交流会」を無事終えることができました。来年は制限を無くし、より多くの奨学生と関わりを持っていただきたい。留学生と国内生の心が交わる場も作っていきたくて改めて思いました。

アンケート

後日回収したアンケートの内容によると、当日交流をはかれた人数は、5~10名が最も多かったです。

アンケート回答数：28名

1. 全体的な印象

とても満足 27名
やや満足 1名



2. ホテルの食事について

とても満足 23名
やや満足 3名
どちらでもない1名

3. 交流をはかれた人数

1~2人 1名
5人 16名
5~10人 9名
10人以上 2名



参加者の声

今回の交流会を通じて、様々な大学や学部の方と交流することができ、本当にいい経験になりました。特に普段留学生の方と交流する機会が多くないので、交流会では様々な国の方の話を聞くことができ良かったです。国が違って自然にコミュニケーションを取れ、留学生の存在を身近に感じました。

また、万全のコロナ対策のお陰で食事の時間もとても楽しく過ごすことができました。

私にとっては二度目の交流会でしたが、去年のオンラインより楽しかったです。同じ事務局の人々でもオンラインでは無く、実際に会うとやはり全然違い、非常に楽しかったです。また、同じ奨学生とも会えて嬉しかったです。

思ったよりはとても良かったです。もう少し開催時間が長く、人ともっと交流できれば更に良かったと思います。

交流会の際に連絡先を交換し、その後も交流が続いております。奨学生の方と交流を持ちかけを作っていただき有難うございました。

4. 事務局の対応について

とても満足 25名
やや満足 2名

Thank you!!



It was very good experience to meet with different people from different universities. The BINGO game was fun .Introduction was also fun to learn about different research and hobbies. Food was delicious. I enjoyed the whole event very much.

本当に楽しかったです。また、参加させていただけたら嬉しいです。交流会に来て、日本人の奨学生が思ったより多くてびっくりしました。

大学に入学して以来、ずっとコロナ禍にあった私にとって今回の交流会は貴重な体験でした。久しぶりに初めて会う人と交流を深め、互いの知見を交換し合え、とても楽しかったです。また私の周りに頑張っている人がいることを身をもって知り、自分ももっと精進せねばと鼓舞されました。

この度は3年ぶりの対面での交流会に参加させていただき誠に有難うございました。最初は他大学の奨学生の皆様と上手に交流できるか不安でしたが、皆様と素敵な時間を過ごすにつれてリラックスした状態で楽しく交流することができました。そして交流したことで皆様が各大学で取り組まれていることの凄さに圧倒されましたが、そのおかげで私も現在将来のために取り組んでいることに自信を持つことができました。レクリエーションでのビンゴ大会ではまさかの理事長賞の「紅ずわいがに盛り1kg」を当てることができました。当たると思っていなかったのもとても嬉しかったです。

私の周辺には奨学金をいただいている友人がおりませんでしたので、使い道や頂くにあたって努力している事などを聞くことのできた今回の交流会は非常に有意義でした。交流会というものに参加することが初めてだったので、だいぶ緊張していましたが、財団の方々や同じテーブルの学生方は非常に気さくで気楽に楽しんで交流できました。お食事初めての体験でとてもわくわくしましたし本当に美味しかったです。

会場に集まって自己紹介した時は文理や研究分野がバラバラで共通の話題を見つけられるか不安でした。しかし、会食が始まってからは、出身地やそれぞれの研究室の様子や大学院入試の話で盛り上がりました。このように和気藹々とした雰囲気での交流会を楽しめたのは、交流会を担当された藤井国際奨学財団の方がいらしたからだと思います。今後も、頂いている奨学金で社会の役に立つ研究ができるよう日々精進していきます。

食事中やバスでの移動中など、他の奨学生と交流を回る機会が多く、様々な話を聞くことが出来ました。特に自分の研究とは別分野の話や留学生の故郷の料理の話など興味深いことが多く、奨学生交流会を通じて貴重な経験をられました。

